

委 10-4 :

# 第6回ロケット打上げ

## 実験計画書

(昭和47年8・9月期)

昭和 47 年 7 月

宇宙開発事業団

## 第6回ロケット打上げ実験計画

第6回ロケット打上げ実験計画の概要は、次のとおりである。

### 1. 打上げ実施機関

宇宙開発事業団

東京都港区浜松町2丁目4番地1号

世界貿易センタービル

理事長 島 秀 雄

### 2. 打上げ場所

宇宙開発事業団種子島宇宙センター

鹿児島県熊毛郡南種子町大字茎永字宇津

東 経 130° 57' 55"

北 緯 30° 22' 20"

### 3. 打上げ期間

昭和47年8月30日から9月8日までの10日間

### 4. 打上げ実施責任者

副理事長 松 浦 陽 恵

### 5. ロケットの機種と機数

MT-135P型T-3、4号機およびLS-C型6号機の計3機である。

## 6 実験の目的

### (1) MT-135P型T-3、4号機

MT-135P型ロケットは、人工衛星打上げにあたって必要な上層の気象データを観測するための1段式固体ロケットである。

本3、4号機は、種子島上空の風向・風速および気温の観測を目的とする。

### (2) LS-C型6号機

LS-C型ロケットは、Nロケットの第2段目に使用する液体ロケットを開発するためのものであり、第1段に固体燃料、第2段に液体燃料を用いる2段式ロケットである。

本6号機では、5号機による実験に引き続いて液体ロケットエンジンの飛しょう環境における性能、機能を確認するとともに、第2段燃焼中にジャイロ信号により、ジンバル制御装置およびガスジェット制御装置を作動させ、これら制御装置の機能、性能を確認することを目的とする。

## 7 打上げ予定日時

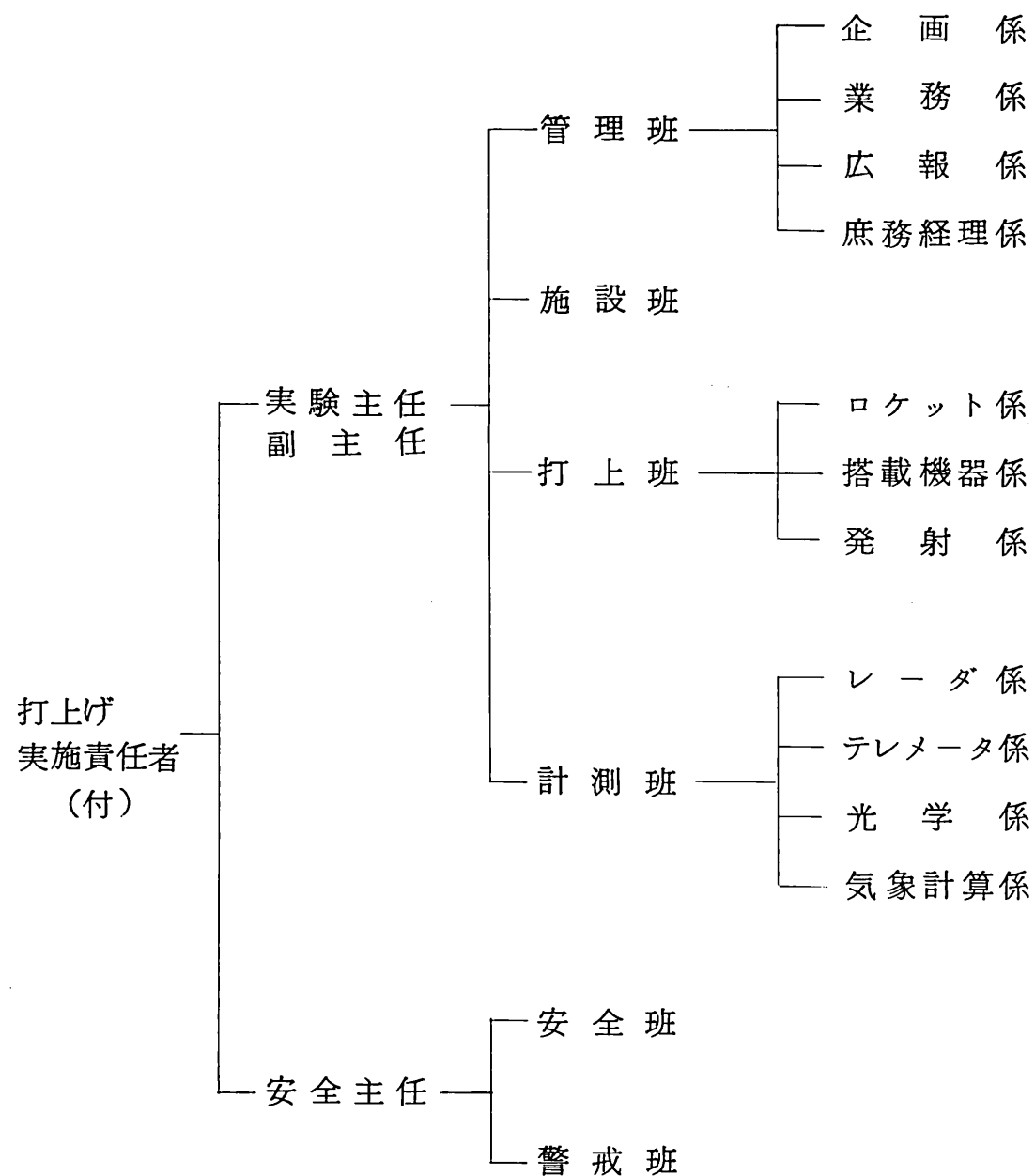
機 種	打上予定日	海面落下時間帯	延期する場合の期間 および海面落下時間帯
MT-135P型T-3号機	8月30日(水)	10:30~11:00	8月30日(水)~9月8日(金) 15:00~15:30 10:30~11:00
MT-135P型T-4号機	8月30日(水)	15:00~15:30	8月31日(木)~9月8日(金) 10:30~11:00 15:00~15:30
LS-C型6号機	8月31日(木)	15:00~15:30	9月1日(金)~9月8日(金) 15:00~15:30

打上げ予定日に天候その他の都合によって打上げが出来ないときは、「延期する場合の期間および海面落下時間帯」の欄の範囲内で延期する。

なお、この場合他機種 of ロケットを同一日に打ち上げることはない。変更の理由が天候によるときは、当日できるだけ早く報知する。また、その他の都合によるときは、不測の障害に基づく場合を除き少なくとも前日中に報知する手段を講ずる。

## 8 打上げ組織

打上げの組織については、下表に示すとおりである。



## 9 安全警戒

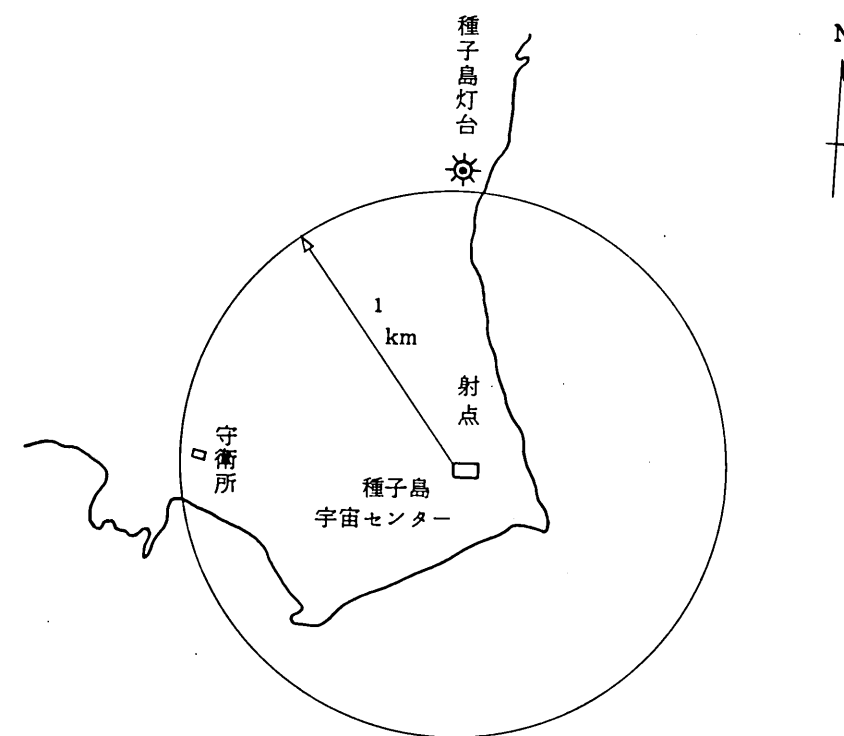
安全確保を重視し、次の要領により、警戒を行なう。

### (1) 警戒の範囲

ア. 射場および沿岸警戒区域を下図に示す。

イ. 海上については、ロケット落下予想区域として別図に示す。

警戒区域



射点を中心とし、半径 1 Km 以内を警戒区域とする。

(2) 陸上の警戒

射場附近の陸上の警戒については、鹿児島県警察本部に依頼する。

射場内の警戒は宇宙開発事業団が担当する。ロケット打上げにあたっては、警戒区域内に一般の人が立ち入らないよう立札等の表示をする。

なお、ロケットの輸送にあたっては別途輸送計画書にしたがって安全の確保に留意しつつ実施し、種子島内の警戒については鹿児島県警察本部に依頼する。

(3) 海上の警戒

海上のロケット落下予想区域の警戒については、第十管区海上保安本部に依頼するが、射場附近の沿岸の警戒については、宇宙開発事業団が担当する。

(4) 航空機に対する警戒

航空機に対する警戒については、大阪航空局鹿児島空港事務所および大阪航空局種子島空港出張所に依頼する。

(5) 射場における警戒表示方法

- ア. 実験当日は、射場内に黄旗を掲げる。
- イ. 打上げ30分前に赤旗を掲げる。
- ウ. 打上げ2分前に花火を1発あげる。
- エ. 各ロケット打上げ終了後は、花火を2発あげるとともに赤旗をおろす。
- オ. 非常事態あるいは異常事態発生の際は、サイレンを断続的に吹鳴する。これを解除する際は、サイレンを15秒間吹鳴する。

10. 通信連絡系

ロケット打上げに際しては、第十管区海上保安本部鹿児島海上保安部および大阪航空局種子島空港出張所に連絡員を派遣するとともに、射場との間に連絡専用回線を開設し、緊密な連絡にあたる。主な通信連絡先は、別表に示す。

11. リハーサル（予行演習）

次の予定でリハーサルを実施する。

ア MT-135P型T-3、4号機 8月29日(火)

イ LS-C型6号機 8月26日(土)

なお天候その他の都合により、リハーサルの予定を変更することがある。

12. 報道関係

- (1) 報道関係者には、安全確保に留意しつつロケットならびに射場内の施設および設備を公開し、取材の便宜をはかる。
- (2) ロケットの打上げ結果については、打上げ終了後、実験主任から概略の発表を行なう。

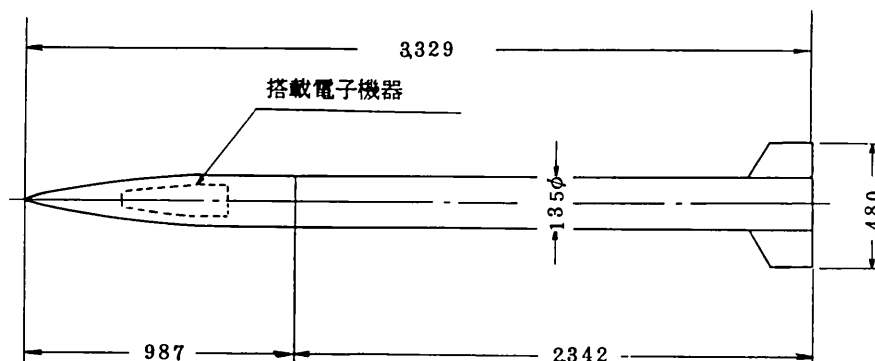
### 13 ロケットの性能、諸元

機 種 諸元	MT-135P型 T-3、4号機	LS-C型6号機	
		1 段 目	2 段 目
形 式	固 体	固 体	液 体
全 長 (mm)	3329	11135	
		3205	7930
外 径 (mm)	135	566	600
全 重 量 (ton)	0.07	2.53	
推 薬 重 量 (kg)	375	670	660
* 平 均 推 力 (ton)	0.8	171	33
燃 焼 秒 時 (sec)	10.5	8.8	37.5
発 射 高 度 角 (°)	80	75	
発 射 方 位 角 (°)	90	100	
到 達 高 度 (km)	52	61	59
水平飛しょう距離 (km)	41	35	160.8
搭 載 機 器	テレメータトランス ボンダ 温 度 計	ジャイロ機器、テレメータ送信器 レーダトランスボンダ、ジノバル制御装置 ガスジェット制御装置 応急停止受信装置	

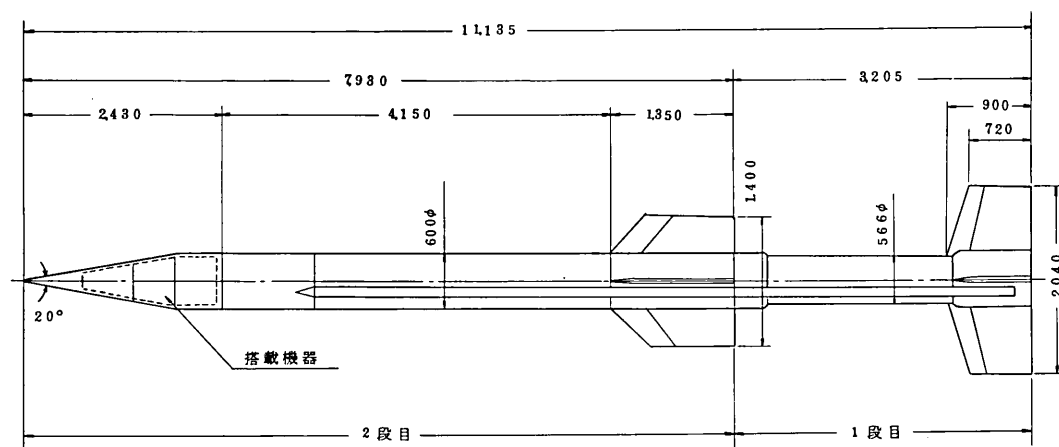
④ \*印は海面上の値

#### 14. ロケットの概要

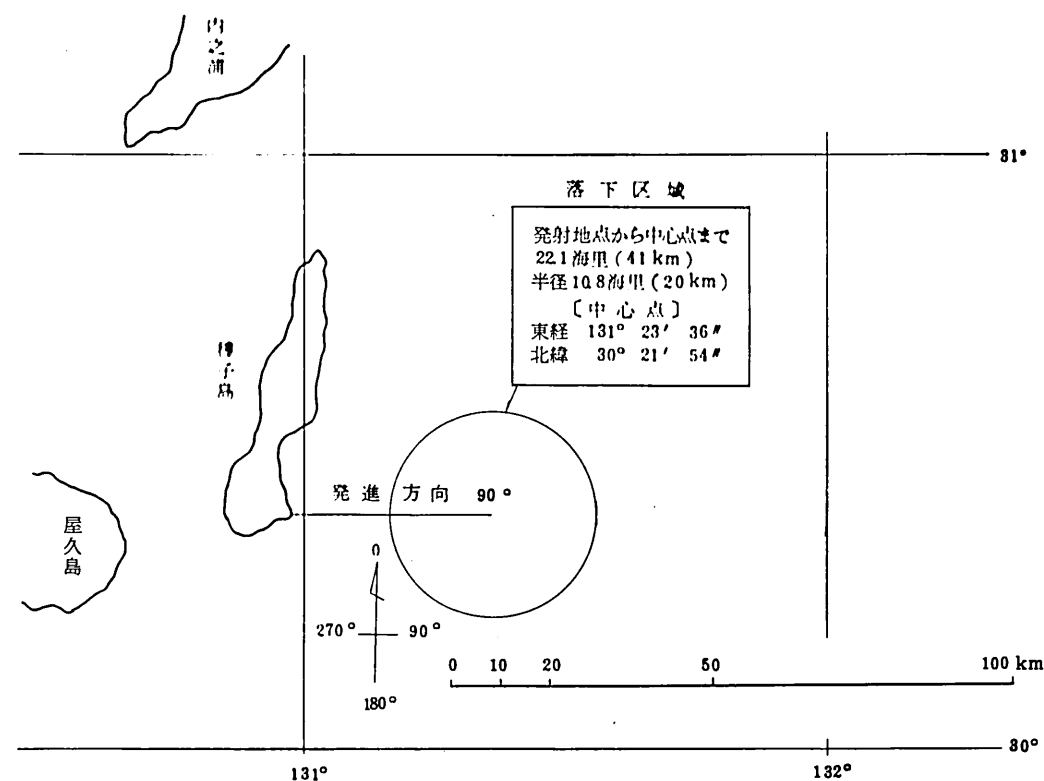
MT-135P型T-3、4号機(30分の1)



LS-C型6号機(100分の1)



MT-135P型T-3、4号機落下予想区域



LS-C型6号機落下予想区域

